

豊山町総合計画有識者懇談会議事録【公開用】

1 開催日時 令和元年7月9日(火) 午前10時～午前11時30分

2 開催場所 豊山町役場3階 会議室5

3 出席者

愛知県名古屋空港事務所 副空港長	堤 俊 憲
エアポートウォーク名古屋 支配人	桑 田 秋 彦
名古屋空港ビルディング(株) 総務部長	坂 野 慎
名古屋市中央卸売市場北部市場 場長	瀧 川 裕 司
名古屋市中央卸売市場北部市場協会 (セントライ 青果株式会社 管理部副部長)	竹 市 栄
株式会社フジドリームエアラインズ 総務人事部 長	岡 嶋 基 晴
三菱航空機株式会社 事業支援グループ チーム リーダー	中 西 邦 夫
三菱重工業株式会社 総務法務部 名古屋総務グ ループ渉外担当課長	小 形 浩

事務局

理事	伊 井 誠
総務部長	小 川 徹 也
総務部 総務課長	鈴 木 雅 之
総務部 総務課 財政・管財係長	中 川 徹
総務部 総務課 企画・情報係 主査	牧 野 礼 男

オブザーバー

ランドブレイン株式会社名古屋事務所	伊 藤 克 洋
ランドブレイン株式会社名古屋事務所	野 口 道 代

4 議題

- (1) 本町の現状、主要課題、人口動向と将来見込みについて
- (2) 意見・情報交換

5 会議資料

- ・第5次総合計画有識者懇談会名簿
- ・資料1 豊山町第5次総合計画策定のための有識者懇談会 資料

6 意見・情報交換内容

【鈴木総務課長】 第5次総合計画策定のための有識者懇談会を開催する。はじめに、豊山町長よりご挨拶をお願いする。

【服部町長】 本日はお忙しい中、第5次総合計画策定のための有識者懇談会にお越しいただき感謝する。日頃から本町の施策に対してのご理解、ご協力にお礼申し上げます。本懇談会は第5次総合計画の策定にあたり、本町のまちづくり、特に経済振興に大きな役割を担っていただいている皆さまにお集まりいただき、事業者様の見地から本町の特性や課題に対する認識と今後のまちづくりに向けた意識や提案要望等をお聞きする場として開催している。総合計画は、町の総合上位計画であり、豊山町が目指すまちづくりの方向性を決める重要な計画。第5次総合計画の作成にあたっては、これまでのまちづくりの成果を踏まえた上で、長期的な視野に立ち、今後の方向性を明らかにし、将来像を実現するために取り組むべき施策を体系的に示していきたい。皆さまが企業活動を行う上で実感している豊山町の特性、把握している住民の意識やニーズ、それぞれの企業の皆さまが今後10年の間に重視している取り組み等について、お聞かせいただければと思う。今後とも町政にご協力いただく事をお願いし、挨拶とさせていただきます。

【鈴木総務課長】 町長は公務のため、ここで退席させていただきます。

参加者の皆さまに自己紹介をお願いしたい。

(参加者の自己紹介)

【鈴木総務課長】 事務局側の自己紹介。議事録は後日、名前を伏せて公開を予定している。それでは、配布資料の説明に移らせていただく。

【牧野主査】 配布資料の内容（豊山町の現状など、第5次総合計画策定に向けたまちづくりの主要課題、豊山町の人口動向と将来見込み）についての説明。

【鈴木総務課長】 事務局からの説明にもとづき、意見交換、情報交換に移らせていただく。忌憚のないご意見をいただきたい。

【伊井理事】 人口、名古屋空港の旅客、産業など、これまでの10年およびこれからの10年についての豊山町についての補足説明。総合計画は10年の計画で、町民の皆さまからは比較的意見を頂戴しているが、

事業者様からも色々なお立場から自由にご意見をいただきたい。

皆さまの企業にお勤めの方は、豊山町に住んでいる人はどのくらいいるのか。

【 A 氏 】 豊山町外から通勤している人が大半だと思う。朝夕の通勤時以外の時間帯については、例えば名古屋に出ることを考えると交通手段が限られる。交通の利便性という点でむずかしい。

【 B 氏 】 独身者では町内に住居を借りて住んでいる人もいるが、休日に活動するとなると街中になるので、やはり街中に住むことになる。自身の経験から考えても、やはり豊山に住むのは少し不便。

【 伊井理事 】 社員の数は今後増えるのか。

【 B 氏 】 増えていく可能性があると思う。ただどういうふうが増えていくかは、まだ見通しがたっていない。

【 C 氏 】 比較的豊山町に住んでいる者が多いかと思う。シフト制のため、朝が早かったり、夜遅くなったりするので、会社としても近くに住むことを推奨している。比較的若い人は町内に住んでいる。ただ年齢を重ねると、利便性を求めて、バスがある勝川、名駅、西春のほうが交通の便がよいため、そちらに出ていく人が多いのも確か。やはり公共交通機関の少なさが辛いと感じる。その結果もあり、車通勤者が多いが、駐車場が確保できないという事もあり、周辺に駐車場を借りている。その周辺は車の通りが激しいため、安全性のことも考えて、もう少し横断歩道があるとよい。また、道が暗くて、怖い目というか嫌な目にあった人もいる。町内の夜間照明がもう少しあると、近辺に住んで通う者は安心できると思う。

【 D 氏 】 以前は名古屋市内にあって、移転してきたため、従業員の年配者は豊山町ではなく、名古屋市内在住者が多い。若い社員は全国から採用するため近くに寮があったが、最近、寮を売却した。寮生はアパートを探したが、会社の近くに住居を選んだ人と公共交通機関の便が良い西春駅・味美駅方面を選んだ人の2つに分かれた。また、私自身も出張も多く、名古屋駅等へ行く機会も多いが、乗り換え等を考えると交通が不便だと感じる。

また、治安の関係で、女性が近くの関連会社に資料などを持って行く場合、昼間でもあまり通りたくない場所があると言っている。

以前よりは減っているとは思いますが。道路に座って喋っている人を見ると、女性が不安に思い通りたくないと感じているようだ。

【 E 氏 】 豊山町を考えた場合、大都市周辺の町ということで、そういう町はどこも同じだと思うが、財政力が豊かで、また豊山町はイチローの出身地でも有名。先ほどから話がでていますが、栄・名駅への公共交通機関のアクセス本数が少ない。ただ、市バスが北部市場まであるのでまだよい。あおい交通のバスの本数が割とあって、安くて速いが、ただちょっと危ないと感じる時もあるが。そういった意味で、他の市町村と比較してもそれほど悪くはないと思う。私自身が住んでいる町よりは恵まれていると感じる。どうしても交通の横の連携がほしくなるが、バスの本数を多く走らせるとなるとコストがかかるため、仕方がないとも思う。個人的には評価している。

住民という面では、先ほどの人口の推計などから、急激に高齢化が進むわけではない。他の市町は高齢化が深刻な問題で、どのように対応していくかが重要になっている。豊山町自体はそこまで深刻ではないため、あまり少子高齢化に神経質にならずに、働く世代のコミュニケーションを豊かにするというところに重点に置いて考えていけばいいのではないかと。

豊山町はこういう町だという印象に残るイメージがあるといい。

【伊井理事】 移転の話を新聞等で見聞きしているが、その動きは今後10年の間にあるのか。

【 E 氏 】 在り方を議論する場として、検討懇談会が起ち上げられた。本年度と来年度の2年かけて、一定の選択肢を考えていくことになる。在り方の選択肢をゼロベースで検討している。10年後どうしていくかという議論を始めたところ。統合、強化なども検討。あらゆる選択肢の可能性がある。着工等を考えたら、10年ぐらいのspanはかかるので、この先10年は合意形成していくことになるため、この10年で急になくなるという事はない。

【伊井理事】 移転の話が出てくる背景として、事業、取り扱いの物量が減ってきているという現状はあるのか。

【 D 氏 】 取扱量は年々減っている。名古屋の場合、東京都と大阪の間にあり、両方から攻められる立場にある。愛知県は製造業が強く、人口

も多いという事で、物量的にあるだろうということ。

【 F 氏 】 交通の利便性の向上が一番大きいと思う。例えば、鉄道を持ってくれば利便性も上がり、色々な課題が解決するだろうが、無理な話だと思う。ただこれだけの企業人口があって、空港もあり、大型商業施設もあり、町民人口もあれば鉄道があってもおかしくないのではとも思う。

そうすると、メインの交通手段は車になる。道路整備について言えば、目の前の道路も昨年 2 車線になり、南の方のエアポートウォーク周辺の町道整備も進んでいるので、他の自治体と比較しても、道路整備については計画的に進んでいると見て取れる。

公共交通の充実については、名古屋空港の公共交通の利用にも密接に連携できるものかなと思う。お盆・ゴールデンウィーク・年末年始は名古屋空港の駐車場問題がある。既存のバス路線の充実、利便性の向上は、町民の皆さま、名古屋空港関係者にとっても同じ方向性の課題ではないかなと思う。

先ほど話に出たバスについては、あおい交通と名鉄バスが走っているが、コミュニティバスということになると各自治体のコミュニティバスは行政サービスの色合いが強く、朝や深夜帯にはなくて、日中も 1 時間に 1 本、役場、病院など公共施設を中心に路線が出来ていることが多い。一方、豊山町のバスは、町民の足として路線が引かれているので、少し色合いも使命もちょっと違うかなと思う。あおい交通には定期券がないので、その点は不便である。需要があるため定期券をつくってほしい。小中学生は徒歩圏内で通学できるが、高校や大学へ通学となると公共交通を利用することになる。現在の乗車券の種類では通いづらい。道路整備が進めば、バスの所要時間も短くなるので、さらに公共交通の利便性も上がると思う。

あおい交通の高速道路を使った名古屋と栄を走る直行バスだが、飛行機を使ったお客様や空港関係者も使う。夕方には本数はあるが、満席になると次の便を利用することになり、町民の方には使いづらいかと思う。全体の路線も含め、町民の方のニーズに合っているかとは思いますが、さらに深掘して路線・時刻を検討してはどうか。

さらに先の 2030 年、2040 年の超高齢化社会になると、いま全国的

に高齢者の自動車事故が多く免許返納も進んできているが、豊山町の強みとして、狭いエリアで高齢者も含め、徒歩圏内で生活の全てが完結できるまちづくりが出来るのではないかと思う。超高齢化社会を考えた時に、全国の模範となるまちづくりにもなるのではないか。

【伊井理事】 今後10年、事業が変化していくことはあるか。

【F氏】 引き続きこの地域に根ざした会社になっていきたい。

【総務部長】 タウンバスの定期券がないという話が出た。調べたところ定期券がない、本数が1時間に1本程度等の理由により、タウンバスは企業の通勤手当の対象にならないと聞いている。皆さまの企業ではどうか。

【F氏】 名古屋駅を經由してあおい交通で通っている人はいるが、基本的には名鉄西春駅経由の名鉄バスの積算により通勤手当を出している。やはり、定期がないという点で通勤手当の対象にはしづらい。

【G氏】 豊山町の年齢別人口を見ると、30代~40代が多いのは魅力ある年齢構成で、将来的にも高齢化は進むが少子化は進まないということで、ありがたいマーケットと判断している。

そういったなかで、今まで話が出た交通の便での影響に目を向けると、人手不足が深刻である。一番の課題はここまでの交通アクセス。バス利用が大半で、あとは車になる。私どもの従業員はほぼ車通勤。残り2、3割がバス利用となる。帰宅時間も10時半ごろで、本数が足りていない。交通の利便性が人集めの難しさにつながっている。従業員用の駐車場も用意しているが、若い世代には車を持っていない人も多い。バスの利便性を上げてほしい、特に朝夜のバスの利便性を特に希望する。名古屋まで行くとなると、近くまできている名古屋高速とうまく連結出来ないだろうか。

女性従業員もいる中で、過去に夜間、駐車場まで行く途中で、照明がなく暗い中で怖い目にあったりしている。そういうことが理由での退職者もいる。現在は、警備員が巡回している。何かあった時は、西枇杷島警察署と連携をとっているが、突発的な事件が起きた時、30分ぐらいいは時間がかかる。商業施設の中に常駐の警察官がいればよいと思う。

- 【伊井理事】 今後大きく業態が変化することはあり得るのか。
- 【G氏】 現段階では、計画はないが、地域に及ぼす影響等、プラス面、マイナス面を踏まえながら検討し、今後進めていく。
- 【H氏】 情報提供という事で、県営豊山住宅を企業が借りられないかという話がある。企業に借りていただければ、車での送迎バスも必要なくなり、豊山町の定住人口も増えるのではないかということ。
- 【D氏】 豊山住宅は、昭和40年～50年に建てられた公団で複数棟ある。年々分譲の資産価値が下がっている。公団は空き家が多いのかなと感じる。
- 【中川係長】 県営豊山住宅の場所について、地図上で説明。
- 【伊井理事】 ほかに何か、ご自由に発言をお願いしたい。
- 【E氏】 町内に加工場建設の意向のある企業があっても、土地の所有者は所有しつづけたいという意向が強い。やむを得ず20年、30年の定期借地権もあるが、できれば企業は買いたいが、よく知った人でないと売買の話がまとまらない傾向がある。
- それよりも困るのは、昔の農業用水や排水の関係が整備されておらず、異臭がするところがある。排水の整備をきちんとしてほしい。
- 豊山町の過去の総合計画を見たとき、代わり映えがなく、深堀されていない事業があることがうかがえる。
- 企業の集積を考えるためにインフラの部分、あとイメージ的な部分も含めて、まちづくり全体のなかに深堀した言葉を計画に埋め込んでもらおうと将来役に立つのではないかと思う。
- 集積地を作るという話になった時に、農家の人が土地売却するには良い条件が必要。例えば、建ぺい率70%をもう少し上げるなど。計画の中にもそういった事が明記されれば将来的にもいいのではないか。
- 【H氏】 せっかく航空機産業で外国人が多いので、その方々に豊山町をSNS等でアピールしてもらえないかと思う。もっと外国の方に豊山町を訪問してもらえるまちづくりができればいいのではないか。外国人が豊山町にどういう意見を持っているか、意見をお伺いし、いろいろな所を知ってもらい、そういう方々を上手に活用して情報発信が出来ればよいと思う。

【伊井理事】 近々、外国人の職員を入れようかと考えている。外国の方向けに情報を発信したり、要望を聞いたりするには、そういう職員が必要なのではと考えている。大事な視点だと思うため、計画にも工夫して盛り込みたい。

【伊井理事】 他に何かご意見があればお願いしたい。

【鈴木総務課長】 これをもって第5次総合計画策定のための有識者懇談会を終了する。

以上